



私が夢を持つまで

政治を動かすのは経済である

大学進路

- 母国の大学に進むか、海外に留学するか
- 先進国で学びたい、日本語を活かした仕事がしたい
- ⇒日本留学を決心

家族の反対

- 安定した職を捨てる？
- 学費・生活費はどうする？
- ⇒行けば何とかなる

生活難

- 奨学金無し、アルバイト収入無し
- 一日 500 円生活
- ⇒すぐに働けるところへ



大変な肉体労働

- 仕事と学業を並行
- 肉体が疲労する
- ⇒留学を後悔

米山記念奨学生になった

- 辛い生活から解放された
- 「経済的余裕」、「時間の余裕」、「心の余裕」を持つようになった
- ⇒自分の夢と向き合える



夢のきっかけ

私の夢

- 一、会計と IT を兼ね備えた専門家になる
- 二、お金を沢山稼いで、寄付やボランティアを行う
- 三、日本と韓国の架け橋になる

会計に興味を持ったきっかけ

- 0 → 1 が得意な父 (アイデアマン)
- 1 → 100 は苦手 (書類仕事)
- 世界にはアイデアマンが多い
- ⇒私がサポーターになる



道は一つじゃない

- 会計は言語、IT と相性が良い
- 様々な分野を掛け合わせる
- ⇒助言を必要とする人に分かりやすく伝える

寄付とボランティア

- 地区大会で吉岡先生について知った
- 自分にできることをやって、人の助けになることが職業奉仕
- ⇒誰かのためになることをやる

日本と韓国の架け橋

- 最初は、自分にはできないと思った
- お世話クラブで勇気をもらった
- ⇒自分の経験談を本にする



3つの夢

一、会計と IT を兼ね備えた専門家になる

- 在学中に、会計士以外の選択肢があることを学んだ
- 基本情報技術者、システム監査技術者、米国会計士などの資格を取得
- 自分が学んだ会計と、働き先の IT という分野を兼ね



備えた専門家になる

二、寄付やボランティアを行う

- 将来は、自分もロータリアンになりたい
- 特に、勉学に励みたいが、経済的に余裕が無い学生を支援したい



三、日本と韓国の架け橋になる

- 自分の日本留学経験を本にする
- 民間の交流を拡大
- 来日したい人に勇気を与えたい
- ⇒日本に関する誤解を解くきっかけを作る

感謝の気持ち

正の連鎖を繋げていく

- 私も誰かの助けが必要な存在
- 他人も一人では生きていけない
- 私はロータリーに支えられた
- ⇒私も誰かを支えたい



2年間ありがとうございました。

- 夢と励ましをもらった
- 夢という種を芽生えさせる時間が来た
- 「奉仕の精神」を持って生きていく

